

早わかり！ 視覚障がい者へのお手伝いの基本

●困っている視覚障がい者を見かけたら

「何かお手伝いをしましょうか？」と声をかけ、依頼されたらお手伝いをしましょう。



●移動（歩行）の援助

【基本姿勢】 白杖（白い杖）と反対側に立ち肘の上に手を導きます。
ガイド者は半歩前を歩きます。



【狭い場所の誘導】 前後一列になって誘導します。
ガイド者は狭い所を通ること、前に位置することを伝え、握られている腕を背中に回します。



●【段差・階段の昇降】

段差の直前で止まり、上り、下り、踊り場の有無など、状況を伝えます。視覚障がい者が段差を確認したら、足元に注意しながら昇降します。
階段の終わりをはっきりと伝えます。



●【エスカレーターの昇降】

手をベルトに導き単独で昇降する場合

一緒に昇降する場合



事前に上り、下りを伝え、タイミングよく乗降できるよう合図や声をかけましょう。

【電車への誘導】 乗降口の端に触れてもらいます。
ホームとの隙間や高さなど状況を
伝えた後に乗り込みます。



【自動車への誘導】 ドアの上部に触れてもらいます。
頭部がぶつからないように
サポートしながら乗り込んでも
もらいます。



【椅子や机への誘導】

背もたれや机の端に手を誘導し、椅子と机の
位置や向きを確認してもらいます。



【トイレの誘導】

便器の向き、フタの開閉、水栓ボタンや備品の位置を
伝えます。



【物や方向の説明〜クロックポジション〜】

「1時の位置にカップがあります」など、時計の数字で位置や方向を伝えましょう。



●盲導犬ユーザーへの対応



基本姿勢で誘導する場合と、見守りながら援助する方法があります。
盲導犬は信号機の色別が困難なため、信号が青になったことを伝えるなど
情報を積極的に提供しましょう。

制作：千葉県アイパートナー協会

TEL 04-7152-9920 FAX 04-7152-9921